

令和4年度



十勝障がい者就業・生活支援センターだいち



就労移行支援事業所連絡会〈9月例会〉

令和4年9月22日開催

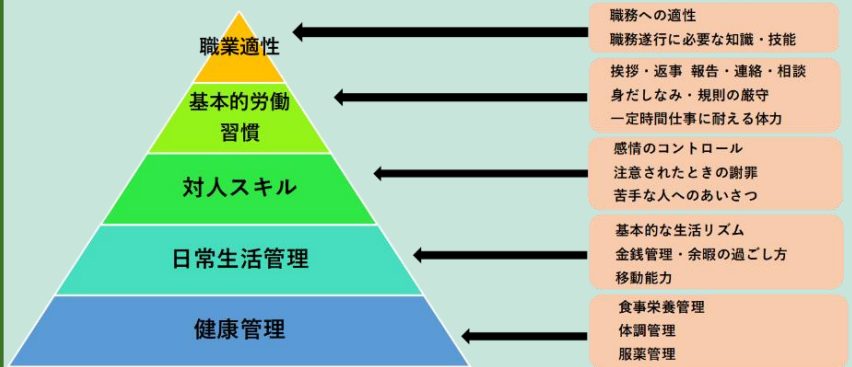
今回のテーマ

「他事業所の活動を知る

～帯広ケア・センターの就労プログラムについて～

一般企業への就職に向けた支援を行う帯広ケア・センターの移行支援部門。サービス内容は多岐に渡りますが、中心となるのは農作業を主とする“作業訓練”と、今回のテーマである“就労プログラム”の2つであると説明がありました。

就労プログラムは、就労に必要な知識・能力を高めたり最大限に発揮したりするためのトレーニングとして行われ、職業準備性（図を参照）向上を目的として活用されています。また就労プログラムには決まった形はなく、利用者さんの必要性に応じて提供しているとのことでした。



以前から連絡会内では、その実施内容や方法、効果について学びたいという声があがっていました。そこで今回は帯広ケア・センターから就労プログラムに関する取り組みの発表と意見交換を行いました。

帯広ケア・センターでは、「社会人にとって必要な基本的スキルを知るプログラム」をはじめ、「何のために働くのか・どんな働き方をしたいかを考えるプログラム」や「防犯対策プログラム（女性対象）」等が行われており、プログラムの目的や対象者像、利用者さんや支援員からの感想等が共有されました。質疑応答や意見交換の内容を抜粋して、以下に記載します。

Q1.就労プログラムのコツ・気をつけていることは？

A1「目的と手段を混同しないこと」「期間を決めて実施すること」の2つを大事にしている。上記の意識を支援員間で統一することで、より効果的に実施できると思う。

Q2.就労プログラムの良いところは？

A2.複数の利用者さんが目的に応じて参加することで、他人の意見を聞ける、自分の考えを客観的に考える機会になることが良い点だと感じている。

Q3.参加の仕方やルールはどうしている？

A3.参加の仕方は、希望すれば誰でも参加できるものと、客観的な必要性に応じて提案したメンバー固定のものがある。ルールはプログラムにもよるが、基本的に自分のことを話す時は無理に他の人と同じくらい話さなくても良く、どこまで話すかの“深さ”は本人に決めてもらっている。

今回、お話をいただいた
帯広ケア・センター飯田さん



情報共有、見学会（学習会）ともに、意見交換が活発に行われ、会の予定時間を延長するほどの盛り上がりでした。今回担当の帯広ケア・センターからは、「連絡会や他事業所からの関心が高いようであれば、積極的に情報共有していきたい」とお話があり、今後も相互に就労支援のノウハウを伝え合い、切磋琢磨されていくのではないかと期待感が高まりました。